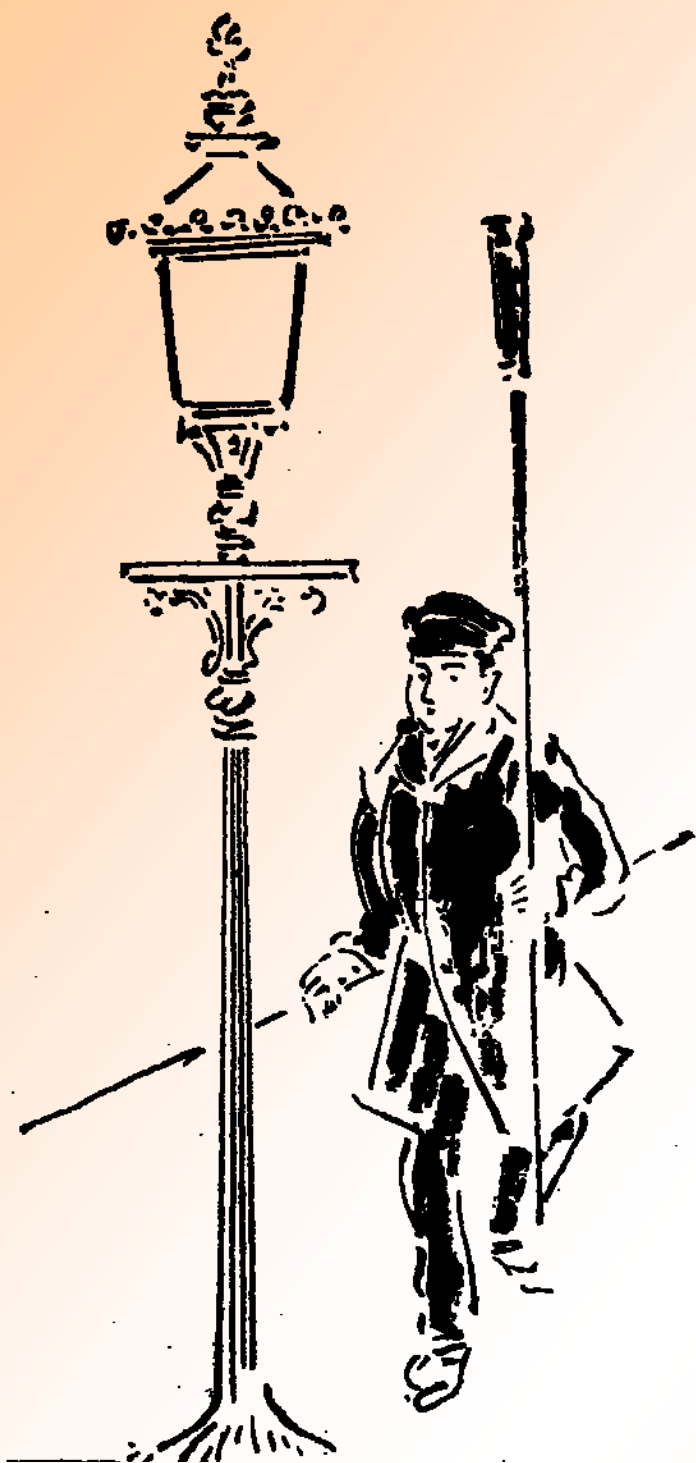


神戸大学附属図書館
平成23年度 資料展

神戸ことはじめ

— 外国人のいた風景 —



「瓦斯燈点火の圖」(『神戸瓦斯四十年史』より)

展示品目録

2011年10月21日(金)~12月20日(火)
社会科学系図書館 2階展示コーナー

1. 舞台としての居留地

No.	展示資料名/パネル資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館等
1-1	神戸港外国船入津之図	図書	1873(明治6年) 『大日本船路細見記』	当時の航海業者必携の書とされる。見開きの挿絵には、外国の大きな帆船や蒸気船や和船が多数入港した様子が、後方には居留地海岸通の街並みが描かれている。	住田文庫 (社会科学系図書館)
パネル	The inland sea of Japan	挿絵記事	『The Illustrated London news』1868年3月14日号	イギリスの絵入り新聞『The Illustrated London News』の記事。兵庫港は最近開港されたばかり、という紹介とともに兵庫港の挿絵を掲載している。	人文科学図書館
パネル	攝州神戸西洋館大湊の賑ひ小信画	錦絵	1868(明治1年)	開港後の港や居留地の賑わいをうかがえる錦絵。停泊する蒸気船や商館が整然と並ぶ様子が描かれている。作者の長谷川小信(1859-1886)は大坂出身の絵師。	海事博物館
パネル	Bund (street following the shore) at Kobe	写真	1897年 『Japan : described and illustrated by the Japanese』section14	写真の下に“Showing various legations, banks and commission houses.”と説明があり、海岸通の大使館や銀行を写したものとわかる。	社会科学系図書館
1-2	Government Land Sale (居留地競売予告)	文書	[1870(明治3年)]	神戸で最初の英字新聞“Hiogo & Osaka Herald”の発行所が印刷・配布した、居留地の第3回競売(1870年5月16日)の予告書。	神戸開港文書
1-3	(面談・会見申し入れ及び返答)	文書	1883(明治16)年	1883年、居留地局長Herman Trotzigが当時の兵庫県令森岡昌純に宛てた、居留地議会の会議開催の通知。	神戸開港文書
1-4	『神戸の港兵庫の都』 横田孝史記述	図書	1891(明治24)年序	前半は神戸港の由来や貿易業、神戸市街、兵庫市街などの概説、後半は神戸市およびその近郊の名勝誌という構成。今回展示しているのは外国人居留地について書かれた章。パネルの挿絵は、当時内外人遊園地(現在の東遊園地に相当)にあった運動場を描いたもの。	住田文庫 (社会科学系図書館)
パネル	神戸運動場	挿絵			
パネル	瓦斯燈点火の圖	挿絵	1940(昭和15)年 神戸瓦斯株式会社編 『神戸瓦斯四十年史』	1874(明治7)年11月、兵庫ガス商會が居留地へガスを供給し始め、それまで使用されていた石油灯にかわってガス灯が点火された。	社会科学系図書館
1-5	『湊の魁：豪商神兵』	図書	1882(明治15)年	神戸と兵庫(現在の元町あたり)の豪商をイラストで紹介したもの。時計、茶、コーヒー、洋家具、洋服、こもり傘、牛肉の販売店などハイカラ神戸の当時の賑いがしのばれる。	企業資料総合センター
1-6	『神戸外國商館案内』	図書	1926(大正15)年	貿易業者向けに編纂されたもの。営業種目、住所などが記載されている。ネツスル及アングロスイス練乳会社(現在のネスレ日本)等、現在も残っている企業の記述も見られる。	社会科学系図書館
1-7	『兵神市街之圖：新撰改正』 粟田福三郎編	地図	1880(明治13)年	郡区町村編成法により、後の神戸市の原型となる「神戸区」が兵庫郡・神戸郡・坂本村を併せて成立した。この地図はその翌年に作成されたもの。	住田文庫 (社会科学系図書館)

2. 神戸ゆかりの外国人たち

No.	展示資料名/パネル資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館等
2-1	(蒸気船製造出来候ニ付き免状御下渡可被下願候)	文書	1871(明治4)年	キルビー商會が製造した木製蒸気船に関する免状発行依頼。蒸気船は製造費22,000両、重さ171.5トン。依頼は発注元の熊本から兵庫県に出された。	神戸開港文書
パネル	明治20年ごろの居留地(京町筋)	写真	1962(昭和37)年 『三菱製紙六十年史』	写真左に見える煙突がKobe Paper Mill。工場は、外国人居留地と道ひとつ隔てた、現在の神戸三宮1丁目にあたる場所に建てられた。	社会科学系図書館
パネル	Machinery Building	写真	1903(明治36年) 『Hotta's Osaka Exhibition photographed』	ハンターが1881(明治14)年に創業した大阪鉄工所は、船舶を中心に事業拡大し、創業5年頃には三菱造船、川崎造船所と並ぶ企業へと成長した。1903(明治36)年の内国勸業博覧会では機械館・通運館にて出品、業界全般への貢献などを理由に受賞した。出品物には浅喫水船「第二由良川丸」や船模型、タンブラー等がある。	社会科学系図書館
パネル	大阪鉄工所出品の鋼鉄製浅喫水船 第二由良川丸	写真	1904(明治36)年 『第五回内国勸業博覧會審査報告』		社会科学系図書館

No.	展示資料名/パネル資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館等
2-2	『第五回内國勸業博覧會と大阪鐵工所』	地図	[1903(明治36)]年	大阪鐵工所が第五回内國勸業博覧會の際に作成した地図。表面には、鐵工所の位置が示された地図と鐵工所の詳細図が載っている。	海事博物館
2-3	『日本精神』 モラエス著；花野富藏譯	図書	1935(昭和10)年	70歳を超えたモラエスの晩年の作品。日本人の伝統的なものの考え方や感じ方の特殊性が、30年以上の在日体験により細やかに表現されている。	社会科学系図書館
2-4	『Kokoro : hints and echoes of Japanese inner life』 Lafcadio Hearn	図書	1896(明治29)年	L・ハーンの神戸時代の著作の一つ。身辺雑記や政治的文章、小説など様々な形式の作品が収録され、日本人の内面に目を向けた作風が特徴。	社会科学系図書館
2-5	『治験録』	図書	1874(明治7)年	J・C・ベリーが同志と設立した貧民病院「恵濟院」並びに兵庫県病院での診療記録。恵濟院は1873(明治6)年3月開院し、無料で診療を行い多くの患者が訪れた。	医学分館
パネル	1869(明治2)年に建てられた神戸病院の建物	写真	大学文書史料室所蔵資料	ベリーが「恵濟院」の解消後に勤めた神戸病院。彼は報酬を辞退し、同病院でも貧民医療を続け、医学教育にも熱心に取り組んだ。	大学文書史料室
パネル	『A Half Century in the Schools of Japan』 Roy Smith	図書	1968(昭和43)年	凌霜会から出版されたスミスの回想録。彼が残した唯一の著作で、石井光二郎(元衆議院議長)など元教え子からも文章が寄稿されている。	社会科学系図書館

3. 六甲山の開発とスポーツ

No.	展示資料名/パネル資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館等
3-1	KR&AC 敏馬の浜のボートハウス	写真	1989(平成1)年 『神戸100年：写真集』	KR&ACのボートハウスはたびたび台風の被害にあい移転新築をくりかえした。写真は1901(明治34)年、敏馬の浜に新築された当時の光景。	社会科学系図書館
パネル	(遊園地敷地として道路縮小につき要請)	文書	1880(明治13)年	居留地議会議長宛に居留民達から、東町の道路を縮小し公園の一部として編入を要請。シムの他グループの署名もある。	神戸開港文書
パネル	(居留地内防火用井戸設置勧告書)	文書	1884(明治17)年2月13日	居留地消防隊の隊長を務めたシムが居留地会議運営委員会に宛てたもの。火事の際、建物のそばですぐ水が使えることの重要性などが記載されている。	神戸開港文書
3-2	日本人がみた東遊園地の外国人	記事	1927(昭和2)年 川西たけを著 『シブキ：神戸新名所の巻』	著者が選定した「神戸新名所」が全編方言で紹介されており、「居留地」の項に東遊園地でスポーツに興じる学生と外国人の姿が描かれている。	社会科学系図書館
パネル	神戸ゴルフ倶楽部	写真	1966(昭和41)年 三杉隆敏編 『神戸ゴルフ倶楽部史』	日本初のゴルフクラブ「神戸ゴルフ倶楽部」創設当初の、婦人を含むゴルファーズやキャディーの写真。当時キャディーを務めたのは近隣の村の少年達であった。	海事科学分館
3-3	『日本のゴルフ史』 西村貫一著	図書	1930(昭和5)年	わが国最初のゴルフ史書。著者は神戸ゴルフ倶楽部元会員で、ドントから帰国時にゴルフ関連の本を譲与された。写真は1903(明治36)年神戸ゴルフ倶楽部開場式の様子。	海事科学分館
パネル	駕の話	記事		交通機関が未整備だった頃の六甲山では、駕籠屋が活躍した。記事には、外国人をのせた駕籠が通った道について記されている。	
パネル	駕籠に乗るグルーム氏	写真	1966(昭和41)年 三杉隆敏編 『神戸ゴルフ倶楽部史』	駕籠は外国人用に安楽椅子を改造してつくられていたらしい。特に大柄な外国人の場合、4人で担ぐこともあったという。	海事科学分館
3-4	『INAKA』vol.13,16,17 Bell Goat編	雑誌	vol.13(1920(大正9)年) vol.16,17(1923(大正12)年)	H.E.ドントが編纂した、六甲をはじめとする登山とゴルフの機関誌。1915-1924(大正4-13)年にかけて全18冊が発行された。神戸大学では3冊を所蔵。	国際文化学図書館ほか
パネル	登山日記	記事	『INAKA』vol.17(1923(大正12)年)	ドントら登山会員達による登山日記。ゴルフ場が閉鎖になる冬季を「登山シーズン」とし、メンバー・コース・時間や雑感などが記されている。	人間科学図書館
パネル	THE GOLF OF THE RISING SUN	記事	『INAKA』vol.16(1923(大正12)年)	「1922年3月 ロンドン『ゴルフ』より転載」とあり、神戸ゴルフ場の様子が紹介された英国ゴルフ誌の記事。	人間科学図書館

No.	展示資料名/パネル資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館等
パネル	ROKKOSAN FOR EVER	写真	『INAKA』vol.13(1920(大正9)年)	ドントが撮影した写真。手前に写っているのは神戸ゴルフ場のサンドグリーンと思われる。	国際文化 学図書館
3-5	六甲山の地名と登路	地図	1933(昭和8)年 竹中靖一著『六甲』附録	「古市達郎調査 大阪高等学校旅行部製作 伊賀信夫校正 昭和八年」とある。横文字の登山道名が目立ち、外国人の手で六甲山が開かれたことをうかがわせる。	国際文化 学図書館

4. 神戸華僑のはじまりと活躍

No.	展示資料名/パネル資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館等
4-1	Registration Ticket for Subjects of Non-Treaty Powers (非条約国民登録証 中国人少年の登録証明)	文書	1870(明治3)年	無条約時代に兵庫県が実施した華僑調査における登録証明。	神戸開港 文書
4-2	Certificate (中国人雇用証明書)	文書	1873(明治6)年	兵庫県は各国領事に、商人が雇用している華僑について報告するよう求め、照会を受けたウォルシュ=ホール商會が、雇用状況を報告したもの。	神戸開港 文書
4-3	神戸市現図	地図	1898(明治31)年 『神戸開港三十年史』付録	条約外の国民である華僑は外国人墓地への埋葬が認められなかったため、1870年に宇治野村(現中央区中山手通)の土地を借用し、墓地を創建した。	社会科学 系図書館
パネル	兵庫縣准給清国人民上等籍牌	文書	1874(明治7)年	明治7年4月太政官布達「在留清国人民籍牌規則」に従い実施された華僑登録の籍牌(住民登録)。住居が居留地になっており、西洋人の使用人か。	神戸開港 文書
パネル	海岸通一雑居地海岸より居留地海岸通を望む	写真	1989(平成1)年 『神戸100年：写真集』	開港当時「条約外の国民」であるとして居留地に住めなかった華僑は、居留地西側の雑居地に住み始め、南京町が形成される元となった。	社会科学 系図書館
4-4	清商吳錦堂 梅卓生[記]	記事	『日本及日本人』 第457号(1907(明治40)年4月15日)	吳錦堂へのある種のイメージ像がここでできあがっている。「...養生堂、泰昌東の二人と相謀り...」とあるが、「養生堂、泰昌東」は人名ではなく商号。	社会科学 系図書館
パネル	神戸の華僑吳錦堂が小東野(現西区神出町)を開墾。右側には吳錦堂池がみえる	写真	1989(平成1)年 『神戸100年：写真集』	小東野(こそくの)の開墾は吳錦堂が手がけた代表的事業の一つ。開墾に際し築いた溜池の一つは、後に彼を顕彰して吳錦堂池と改称された。	社会科学 系図書館
パネル	対清貿易額	グラフ	1904(明治37)年 農商務省商工局 『日清貿易事情』	神戸港は近代産業を考える上でも重要な位置を占めている。明治35(1902)年には、神戸港が対清貿易額の57%を占めている。	社会科学 系図書館
パネル	『日華新報』	新聞	1923(大正12)年	西島良爾(号は函南)によって神戸元町で発行された、中文和文の混じった新聞。創刊は1904(明治37)年頃と推定される。確認できた範囲ではこれが唯一現存する資料である。	デジタル版 日華新報
4-5	『民報』第1号	雑誌	1905(明治38)年	中国同盟會が1905年東京で発行した機関紙。創刊号に、孫文の三大主義(民族・民権・民生、三民主義のこと)を掲載した。	社会科学 系図書館
パネル	孫文批王敬祥等呈及信封	文書	1912(明治45)年1月31日	辛亥革命の進展につれ、神戸華僑も革命政府を支持するようになった。中華民国僑商統一聯合会による資金面での支援に対し、孫文が聯合会会長の王敬祥らに送った感謝の書状。	デジタル版 王敬祥関係文書
パネル	吳錦堂の別荘にて	写真	1985(昭和60)年 『孫文と神戸』	1913(大正2)年3月、中華民国前臨時大総統として来神した孫文が、吳錦堂別邸を訪問し歓迎を受けた際の集合写真。吳錦堂や王敬祥らの姿も見える。	国際文化 学図書館
ファイル	大アジア主義(1-4)	記事	『大阪毎日新聞』 1924(大正13)年12月3日号-12月6日号	1924年11月28日、孫文は県立神戸高等女学校で、滝川儀作(神戸商業會議所会頭)の仲介のもと、「大亜細亞問題」という講演会を行った。	デジタル版 新聞記事 文庫
パネル	孫中山先生此次來日之印象	記事	『日華新報』第887号 (大正14(1925)年1月1日)	大亜細亞主義講演会を終えた孫文の来日について、各新聞社の報道の様子を伝えている。しかしこの号の刊行時、彼は既に病に伏していた。亡くなる2か月前である。	デジタル版 日華新報

編集・発行：神戸大学附属図書館 2011(平成23)年 10月 21日発行

問い合わせ先：情報サービス課 情報リテラシー係

Tel: 078-803-5313 Fax: 078-803-7355 URL: <http://lib.kobe-u.ac.jp/www/>